

冬の計畫畫

東京女高師幼稚園

上 遠 文 子

木の葉がひらひらと散つてゆく。又一枚と。めつきり寒さを感じ上着を又一枚と重ねる様になつて來ました。

自然の冬への進行と共に私共も幼児の爲の冬の生活の計畫を考えねばならなくなりました。幼児にも私共にもすべて活動をはばまれるような冬の到來はちよつと憂鬱さを味いませす。しかし幼児は常に生活力旺盛にして生活を個々に楽しんでいる幼児に對して私共は出來得る限りの好き條件のもとに環境をこしらへ望ましき日々を提供しなければなりません。東京の冬、北海道の冬、鹿児島冬の冬とそれぞれその土地土地によつて、冬の生活も勿論異なりますゆゑ一應に解決づけるのはむづかしい事ですが、今此處に東京の冬として、冬の幼児生活計畫を立て、一考してみましよう。

○戸外遊び

冬と聞けば、人も虫も冬ごもりするものという觀念がありますが、自然は冬でも夏でも相變らず豊かな日光と新鮮な空

氣を常に提供してくれております。寒さによりその日光は弱いものかもしれませんが、日光は日光、新鮮さは新鮮さで多分にあり、私共の健康を展進させてくれます。それゆゑ最大限の戸外遊びを進めたいものです。幼児は進めなくとも自發的に、寒い戸外へ飛出すでしょう。唯大人のみが部屋を閉切りに閉じこもつてゐるのかもしれない。それ程の幼児を大人の見解をもつて寒いから御部屋で遊びましようと思ひ込んで戸外へ誘導する事が大切です。外へ出たものの、さて寒さのみで日向を追つかけては猫の様に圓くなるのでは意味のない事で、先づ私共が先立ちになつて體を動かす様誘導するのです。駆っこ、鬼ごっこ、毬投げ等私共は皆を誘導すべく、山の手遊びの種類を用意しておくべきだと思います。かくして活動により寒さは一べんに解消してしまひます。

次に戸外へ誘ひ出した幼児達へのこちらの計畫を考えてみ

ましよう。

日光のありがたさと、その必要性をしらせましよう。日だまりを利用して、私達の背中をぽかぽかさせて呉れるお陽様を取材とした話合いから始めるのも一つの方法でしょう。

觀察を誘導致ましよう。霜柱、氷、常盤木、冬の芽等、遊びの中に觀察を取入れてあげましよう。氷、霜柱は特によるこんで遊ぶもの、或程度はそれに觸れさせる事によつてその性質も感知する事となるでしょう。

以上冬に比較的實行しにくい戸外遊びを促進すべく計畫を立てましたが、やたらと戸外遊びを主張するのではなく、又細心の注意も要するでしょう。

(イ) 早朝より戸外へ出ぬ事、外の空氣が大分暖められた時間、九時半か十時頃より。

(ロ) 風のつめたい日、特に強い風の時は出ない方がよい。

(ハ) その子の健康によつて判斷する事。

(ニ) 厚着をしている爲活動後汗をかいたりした時はそのままにさせず汗をふき取つてあげたり、衣服の調節を注意する事。

戸外遊びといえは勿論晴天の日ですが、雪の日の遊びも考えてみましよう。自然は冬の單調な我々の生活に雪と云うもので心身ともに慰安を與えてくれます。幼児達にも何よりの材料を提供してもらえらるわけです。雪合戦するのだと用意萬

たん整えて幼稚園へ来るものです。私共もこの自然の提供にあらゆる目的を用意して幼児を待ちます。ちよつと我々の心の計畫を考えてみましよう。

(イ) 自然の不思議さ偉大さを知らせたい。(話合いで)

(ロ) 冬に乏しい自然觀察の唯一の材料として取材したい。これには雪と共に遊び中に、雪の性質、雪というものをしらせ、それを活用して種々作つてみたりして大いに雪にしたいしめさせたいものです。

(ハ) 誰かがちらちら降つて來た雪をうけながら「大雪小雪、雪こんこ……」と歌いながらおどりまわつています。そこでもう一度「雪」の唱歌、遊戲をやつてみましよう。

もう一つ考えるのは雪の日の衛生としつけ、

年少組では出てみたいが寒くてという子もいるでしょう。

普段からあまり寒いので外へ出ない事も年少組には多いと思います。その時に雪は一つの興味のもの、そこで私共の計畫を働かせ、そろ／＼と誘導してみるのであります。思わぬ雪の興味は面白さに引づられて、寒さも忘れ、すっかり風の子になる事もあると思います。

(イ) 思ふ存分活躍する子は、體中雪だらけ、手袋も、靴下も、びしょびしょにしてしまいます。勿論早速とぬがしてかわかしてやるのです。幼稚園に雪の日となると朝より火を起してぬれたものをかわかすだけの用意を、前以つてしておく考えは大切だと思ひます。

(ロ) 雪を掴んだ手は、眞赤になつてふうふういつております。すっかり水をよくふき取り、ぬれていると霜焼やひびになりやすい事を聞かせ、冬はいつも手を綺麗にふき取り、水をつけておかぬ様、注意しておくといつた場合も自然と一人でする様になるでしょう。

(ハ) あまり長い時間、雪で遊んでいない様に、風邪を引いている人は御部屋で遊ぶ様にさせましょう。この判断は、雪の日のみでなく常に心掛けるべきですが、一日の初めの朝、おはようございますと共にその健康を視診してその日の保育を進行させる事は何よりも大切で、こんな場合もこの様に感知しておく事により個人への心やりが出来ると思ひます。

(ニ) 遊び、特に團體遊びはそうですが、雪ぶつけごつことなると、調子にのるとお友達の様等ぶつたりしてしまひますが、そんな場合、相手に對してもいたわる相互の親切心を特に養いたいものです。そして朗かな試合をしたいものです。

東京ではこの貴重な雪の日を特に取立てゝ工夫するものですが、冬中雪の中の保育には又根本的にその保育計畫が違つて來る事と思ひます。私共のうらやましい様な事もあるでしょう。

○室内遊び

戶外遊びを主張したものゝ、やはり室内生活が主となつて

しまふ冬です。幼児の生活力は常に室内よりあふれており、そうかと言つて、それを満足させる程の廣さを室内にもうける事も仲仲不可能ゆゑ、狭い室内でその生活力を充分に發揮させつゝその計畫を進める様、計畫し又誘導するのは、一つに保姆の手腕だと知りつゝ、一番頭をひねる事だと思ひます。勿論私としても生活力を満足させるだけの自然の環境を作る計畫を生み出すに苦心しておりますが、一案として冬の室内生活計畫を考えてみましょう。

幼児の遊びは生活の全部なりとは、言うまでもない事ゆゑ、私共の計畫もその遊びの中に折込んでゆかなければなりません。幼児はどんな自由遊びをしているでしょう。男の子達は部屋の一隅に大積木、椅子を長く利用して汽車ごつこをしています。女の子は又室の一隅で椅子を集めたりしておまゝごとをしています。時々女の子はお人形さんを抱いて出かけるでしょう、汽車の人になつてゐるのです。

これを見て大體私共の計畫も決つたわけです。汽車ごつこお人形あそびを取材にした誘導保育をやつてみましょう。

(一) 汽車ごつこ

その爲に必要な道具を子供達と共に考え、切符、信號旗、方向板、は是非必要ですが、その他驛賣り子のお辨當、お菓子、果物類も新聞粘土で工夫し、もつと發展させ、驛長さん機關手さんの帽子、驛のつくり、シグナル、踏切も面白いでしょう、仲間材料も大變ですが廢物を利用して出来るだけ満

足させましょう。附屬品は出来たもの、汽車をもつと汽車らしくする爲積木に、紙の車、煙突、一等二等の赤青のラインをつけたりしてこれで部屋中汽車ごつこの色彩は整います。こうしてみれば汽車ごつこから、種々お仕事が生れました。お晝かきも、ヌリエも切紙もすべて満足されます、次に女の子のおまゝごとをみましょう。これは出来るだけ男の子の汽車ごつこに併用して行いたいもので、

(二) 着せ替えのお人形

おまゝごとの器、御馳走を（新聞粘土）で作り、材料がゆるすならおまゝごと用の椅子、机を木で作つたり、部屋の一隅とみせる道具立も作りたいものです。（木を用いるのは多く先生の仕事ですが）もつと發展させるなら、着せ替人形に必要な洋服やさんごつこ、又はお菓子やさん、八百やさん何でも子供と相談の上そこに又新しい計畫が生れて來ます。ちよつと目をつぶつて想像して下さい。汽車、驛、おまゝごとのお家、お店やさん。一つの小さい簡單な社會が出来たではありませんか。子供達はその社會に入り込んで面白く遊びます。これが一つの御部屋で不可能な場合は隣の御部屋と合併したりすると、もつと大きな社會も出来るでしょう。

（十四頁）

○全國保育大會

東京都保育連合會及東京都共同主催の全國保育大會は豫ての計畫の通り、文部省、厚生省後援、保育各國體贊助の下に開かれた。十一月二、三兩日は東京女子高等師範學校において、總會と部會協議會。四、五兩日、東京第一師範學校女子部において、保育講習會が展開され、僅に一二の縣を除く外は全國各地から參加、總人員約七百という大盛會であつた。第一日午前九時、内山理事長の經過報告、大會々長東京都副知事の挨拶、文部大臣、厚生大臣の祝辭について議事に入り、倉橋氏を議長に小川、川口兩氏を副議長に、大講堂において活潑なる議事が行われた。部會は分かれた各議案に對し全員いづれかの部に出席するという方式をとり、各室に分れて、それ／＼部會長の下に熱心に討議を重ねた。その中でも大なる收獲は、全國保育連合會の結成せられたことである。全國各地の連絡員が指名せられ、それらの人々が各地方において準備を進め、その集成を以て、内容の充實せる組織を確立するといふ、慎重な方法がとられたことは、この多年の懸案たる全國の保育連合を最も健全堅固に發足發展せしめるものとして期待せられる。

それにしても、此の交通その他の不便多い時に、かくも多數の人々が、遠隔の各地方から集り會せられたことは、主催當事者の努力と共に、全日本に如何に、保育新興の意氣が旺盛であるかを、如實に示したものである。

を行つた。詳細は省くが八割は普通の體格であり、殊に三歳兒に上位の者が多かつた。之ら測定に當り、保母は自ら測定器具の取扱ひを覚え、巧みに子供らを誘導して測定は首尾よく行われ詳しいデーターが得られた。

七、疾病豫防に就て。B・C・Gチフテリ及び百日咳の豫防注射、檢便及び驅虫（檢便では總員に蛔虫卵がいた）を行い、毎週一回の檢診は異常者のみを行い投藥して大事を防いだ。公團故、診察中人だかりがして困つたが、出来る限り慎重な診療に努力し効果があつた。

八、その他のこと「既往狀態」に關し生下時體重、妊娠中母體の狀態、既往榮養、既往傳染病、及疾病、羅病傾向、の調査。「日常生活」に關し、偏食、間食、食慾、腹痛、睡眠體位、夜尿、神經質、保育嫌厭兒などの相互關係の調査。「家庭の環境衛生」として住宅の調査を行い家族一人當り〇・五疊の家庭もあり、日光、採光、溫度など前述の結核兒のアパートが惡條件を備えていることを知つた。その他「父母同胞などの家族歴」も調査した。

之らには特に野外保育の特長がなかつたから別の機會に報告する。が之らの調査に當つて親しく家族と語り、或は様子を探知して眞實を報告得たのは保母に負ふ處大であつた。

要之、健康保育は施設を伴はなければ不可能であるかどうか、試案としてこゝ一學期實際に行つてみた譯であるが、醫

師や保健婦の協力があればこの程度のことは可能であることが判つた。この中保母自身の力で實行出來た項目は、健康教育、視診、體量測定、體格検査、及各種調査であり、從つて醫師の協力はなくとも指示さえあれば農村の季節保育所でもこの程度の事は可能とみられる。

勿論村或は保健所の保健婦は全面的に協力する努力を惜んではならない。

（十八頁より續く）

それをどう引つばつてゆきましょうか。

汽車にちなんだのをしてもよろしいですが、汽車にのつていると、退屈なのか賣子の賣りに來る繪本をよみます。それをとらえ汽車の中の退屈しのぎとお話に變えたら實に自然に行くでしょう。驛長さんも機關手さんもよつて來るかもしれません。

唱歌は汽車の唱歌、まゝことの歌、自然に歌い出され或ものは汽車にのつてうたつているでしょう。今度はそれを歌うのみでなく、リズム遊びに轉じて、皆が汽車になりリズムに併せて走つたり、歩いたりします。

又一つの短いお話をリズムに併せ動作にさせても面白いでしょう。既習の唱歌もその適した所に入れてやれば又變つた味でもあります。